

## 第1回策定検討委員会資料に関連した次期総合計画策定に関するご意見

No	分類	資料	ご意見内容
1	現行総合計画の検証	4第5次総合計画実行計画	これから、第5次総合計画の達成状況を評価することとなるのだろうが、そのなかでも、特に、資料4-1第一次推進計画16頁地域コミュニティ支援事業について、また、資料4-2第二次推進計画6頁高齢者地域支えあい事業について、それらの総括ともいうべき、資料4-3金額入りの第三次推進計画における5頁高齢者地域支えあい事業の効果測定を、また、15頁地区行事支援事業と地域コミュニティ支援事業との関係での効果測定をお願いしたい。
2	現行総合計画の検証		次期総合計画策定の土台について 現総合計画を振り返らなければいけないのではないかと。(推進計画 分類項目で実施しなかった事業はあるのか、その理由は etc) 現総合計画の改善・対応策は次期総合計画策定の非常に有効な土台となる(KPI指標があればベストですが、現場の経験値のヒアリングも大きなKFS(Key Factor for Success)となる)
3	策定の方向性	5 策定方針	検証可能という点に拘り過ぎないこと。指標の設定は、進捗状況を把握し課題を明らかにするという検証可能というためには必要であるが、指標設定は、その達成が住民にも責任がある形のものを選ぶようにすべきである。行政活動だけで達成できる指標では意味がない。
4	策定の方向性	5 策定方針	住民意識調査にとらわれすぎないこと。町全体で今後の時代状況に対応しなければならない価値にかかわる部分は、住民意識調査では出てこない。満足度と課題の重要度により、地域地区別、あるいは年齢階層別の分析により、施策重要度の「参考」に供する程度になるのではないかと。
5	策定の方向性	8 基礎調査資料集	人口の見通しについて 5地区別の人口の見通し、世帯の見通しが必要。このことにより、特に、高齢者支援施策の重点の置き方が地域地区により変わってくる。また、介護予防・総合生活支援事業等での地域住民との協働のあり方も変わってくると考えられる。
6	策定の方向性	5 策定方針	菰野町総合計画についての進捗状況のチェック 計画の進捗状況を客観的に把握し、評価するための委員会(第三者的な立場・外部委員)の存在はありますか。 計画の期間中、年度ごとに進捗を評価(例えば5段階など)してはいかがでしょうか。(住民目線でも理解していただけようか。)
7	策定の方向性	5 策定方針	前段で「次期総合計画は、大きく変動する社会情勢の中で、…」と記述があることから、「(2)地域の特性を生かした計画であること」については、「(例)時代潮流を踏まえつつ、菰野町に住むことに愛着を…」と例示の趣旨に関する文言を入れた方がよいのではないかと思います。 具体的には、Society5.0と呼ばれるデジタル技術を活用した社会・経済の大きな変革が進んでおり、地域住民・企業や自治体も、こうしたデジタル技術を活用した変革が求められていると思います(菰野町のMaaS実証事業もその一例)。
8	策定の方向性	8 基礎調査資料集	《人口》1. 及び3. 人口(推計)について 前回策定時には、人口が微増していくことを前提としていたと思われませんが、今回の策定においては、人口減少を強く意識した計画づくりが必要であると思います。 また、世帯人員の減少傾向が続くなか、今まで以上に、自助・共助・公助を理解して実践できるような計画づくりが必要ではないでしょうか。
9	計画期間と構成	5 策定方針	計画期間は、10年でいいかどうか。社会経済情勢の変化が速いこと、最近、首長のマニフェストに合わせる必要があることなどから、例えば、8年もありうるのではないかと。

## 第1回策定検討委員会資料に関連した次期総合計画策定に関するご意見

No	分類	資料	ご意見内容
10	計画期間と構成		次期総合計画 構成について 役場内の組織編成に基づいた縦割り分類から協働分類へ見直すことを提案する(いくつかの具体的なテーマに分類し、そのテーマに対して「各組織が何をすべきか、何が出来るか」を明記する)」
11	町民参加	7 町民アンケート	上記に関連して、町の将来をみんなで話し合う機会への参加が若者層で「よくわからない」との回答者が多いことを踏まえると、策定された次期総合計画を基に、「持続可能」をテーマにするなどして、例えば若者向けワークショップを開催するなど話し合う機会の場を作って、総合計画の理解を深めて頂き、将来のまちづくりを考えてもらってもよいのではないのでしょうか。
12	町民参加	7 町民アンケート	アンケートにおいて菰野町総合計画の存在を知らないという意見が多かったようですが、より多くの町民に認知されるように本総合計画が広報・周知されて行く事を期待します。
13	基本構想	7 町民アンケート	アンケート:総合計画の認知度(年齢別)×将来像のキーワード(年齢別)を踏まえると、若年層の認知度が低い一方、将来像は町長も言及している「持続可能」を重要なキーワードとして捉えていることから、若者にも関心がある「SDGs」に関する内容を総合計画に織り込むなどしてもよいのではないのでしょうか。
14	基本構想		次期総合計画が「何のための計画」かを再考する 住民自治を実現する為には何が必要なかを問う事も重要と考える
15	基本構想		次期総合計画が「何のための計画」かを再考する 公助・共助/互助・自助の意識改革が必要である(一部の住民アンケートの結果共有だけでは当事者意識は生まれないと感じます)
16	基本構想		町づくりのための「攻めの姿勢」を明記する 公共でしか作り上げる事ができない大きな構想案を示す事で民も関連し合える(町議会でも話し合われている「菰野富士整備」「ラドン活用」「医療環境整備」など、今ある議論をテーマにするなど etc)
17	施策の方向		次期総合計画 構成について 誰もが「向かうべき道」「その先にある形」が分かるような具体的なテーマ設定が各分類項目に必要と考える(将来世代に引き継ぐ為に「チルドレンファースト」を目指します！ etc)
18	総合戦略	8 基礎調査資料集	《人口》2. 人口動態・人口流動 菰野町周辺においては、交通網整備による利便性向上が今後も期待されるなか、社会増→定住に結び付けられるよう施策があっても良いのではないかと思います。
19	分野別(生活安全)	8 基礎調査資料集	《都市基盤》高齢者の増加により、より地域公共交通の重要性が増してくると考えられることから、引き続き地域公共交通の利便性向上につながるようなまちづくりをしてほしいと思います。
20	分野別(生活安全)	3第5次総合計画	感染症の発生・拡大予防にむけて 道路の整備により各都市との時間的距離が飛躍的に短縮され、人の移動が大幅に増加しております。新型コロナウイルスの感染は人と人が接触することにより拡大しており、その終息が見えない状況にあります。この非常時へ対応ができるよう、危機管理体制の整備が必要である。

## 第1回策定検討委員会資料に関連した次期総合計画策定に関するご意見

No	分類	資料	ご意見内容
21	分野別 (健康・福祉)	3第5次総合計画	後期基本計画 2212:健康づくり予防対策の推進 国民の安全に対する意識が高まりをみせる中、自分たちの地域は自分たちで守るという連帯意識のもと、個々人が自覚をもって暮らせる町にする。
22	分野別 (人権)	8 基礎調査資料集	《人口》1. 及び3. 人口(推計)について グローバル化・多文化共生社会の進展に伴い、訪日外国人や外国人住民が増加しており、言語や文化的背景の異なる外国人と共に暮らす多文化共生の考え方がますます重要となっていることから、多言語サービスや災害・疾病時の情報提供などに対応することがより一層重要となってくると思います。
23	分野別 (都市基盤)	7 町民アンケート	このような総合計画、その内容など知りませんでした。新名神高速道路 菰野ICができ、道の駅・菰野町役場周辺の開発計画、企業の誘致など世説を耳にします。どれもうわさ、願望のような話しです。
24	分野別 (教育)	8 基礎調査資料集	《教育・文化》 菰野小学校の児童数が多く不登校・いじめ・学業の遅れを懸念しておられる声を聞きます。校舎や学級を増やすことができなければ教員数を増やしてほしいと聞きます。
25	分野別 (持続可能)	8 基礎調査資料集	《人口》1. 及び3. 人口(推計)について 生産年齢人口の減少は自治体税収にとってマイナス要因となることに加え、高齢化による社会保障等の負担が増加し、自治体財政を圧迫する格好となり、今まで以上に慎重な財政運営が必要だと思えます。